



東地中海地域ニュース

レバノン：米国駆逐艦のレバノン沖派遣

(2月29日付現地各紙)

2月28日、米国は駆逐艦コールの派遣を発表した。なお今回派遣されるコールは、2000年10月イエメンのアデン港で自爆テロ攻撃を受けた艦艇。

- 1.28日、米国は、レバノン情勢に関する懸念から、米海軍駆逐艦「コール (USS Cole)」をレバノン近海に派遣することを決定したことを明らかにした。米国国防総省筋によれば、駆逐艦コールは、26日にレバノンに向けてマルタを発った。
- 2.レバノン政府は、今回の派遣決定を米国政府から事前に知らされていなかった趣であり、親政府グループ、野党グループ双方の政治関係者も驚きをもってこれを受け止めている。野党グループのアウン自由愛国運動党首は、「シリアがレバノンに対して戦争を望んでいるなどとは承知しておらず、本件派遣は(米国の)抑止力の誇示にほかならない。(米国は)何を懸念しているのか」との反応を示した。
- 3.一般のレバノン国民の間では、今回の派遣決定はレバノンにおけるシリアの行動に対する米国の深刻な不快感を反映したものであり、ナスラッター・ヒズボラ書記長の「敵対的立場と脅迫」に対する米国の反応であるとみられている。この一方、今回の派遣決定は、米国が軍事力を使ってシリアとレバノン野党に政治的圧力をかけようとするものであり、このような扇動行為はレバノン国内の政治対立を先鋭化させるものではないか、と懸念する向きもある。